



【表紙の写真】卒業おめでとう！これから始まる未来の物語

目次

予算審議 .....	2
定例会概要 .....	8
臨時会概要 .....	12
一般質問 .....	13
みぶぎかいカフェ .....	20
トピックス .....	22

# みぶ ぎかい

No. **212**  
2025

**R7** 3月定例会

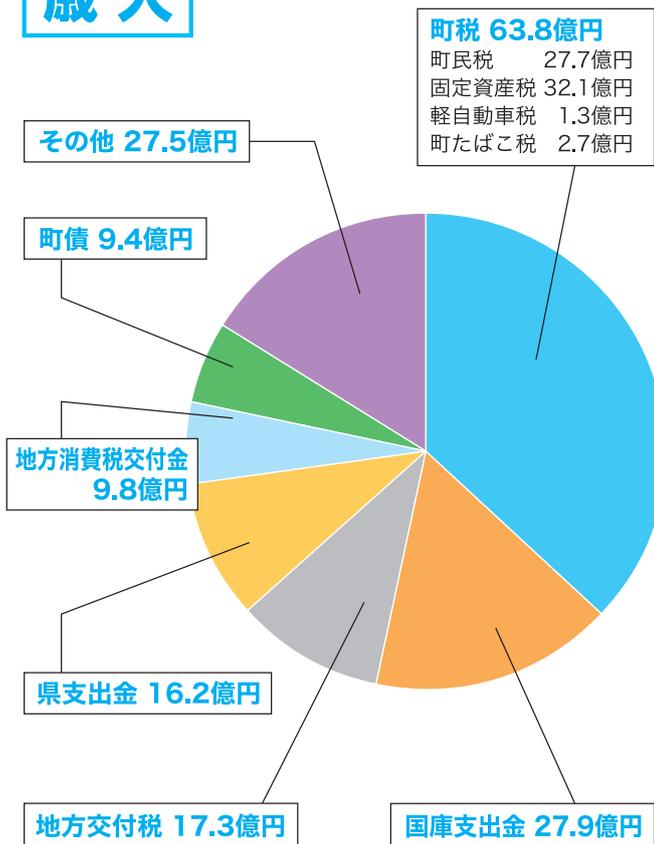
# 3月定例会

# 次世代を育み 持続可能な未来を切り拓く成長予算

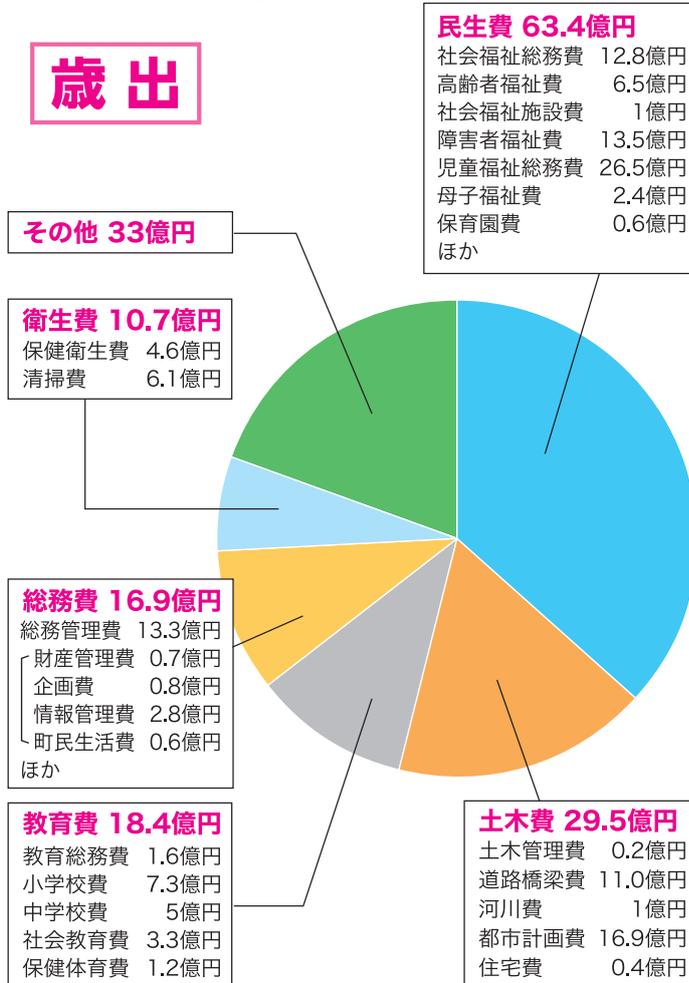
合併70周年を迎える町の更なる発展に向けて

## 過去2番目の大型予算 171.9億円

### 歳入



### 歳出



## 町民の方の声



児童公園が樹木伐採で見通しが良くなりました。更にタバコのポイ捨て禁止や防犯カメラの設置で防犯・防災力を強化して頂けたら安心です。

こいずみ じゅんこ  
小泉 順子 さん



ゆうがおマラソン大会に小4から参加し、今年の郡市町対抗駅伝大会では1区を走りました。地域おこし協力隊ベンジャミンさんから学んだことを生かし、全国高校駅伝大会出場を目指します。

そうとめ いくや  
早乙女 侑弥さん

# 令和7年度予算における主な新規事業

## 1 住み続けたいまち

まちなか拠点『ふらっと壬生テラス』オープン  
町民活動支援センター＝「みぶりん」移転



壬生町合併70周年  
記念事業



## 2 安全で安心して暮らせるまち

日中活動できる機能別消防団の設置



橋梁集約化・通学橋撤去



## 3 支え合い健康で元気に暮らせるまち

妊婦のための支援給付  
児童手当扶助事業



子どもの居場所づくり補助



## 4 快適で便利に暮らせるまち

ユニバーサルデザイン  
タクシー整備



※ユニバーサルデザイン  
タクシーの車両マーク

## 5 自然に囲まれ心豊かに暮らせるまち

脱炭素化推進  
可燃ごみ処理検討事業



## 6 学び・楽しみ心が触れ合うまち

小学校体育館空調機設置



壬生中学校体育館空調（スポットクーラー）

## 7 にぎわいのあるまち

みぶハイウェイパークリニューアル整備



# 令和7年度予算を審査しました!

各会計新年度予算案について、各常任委員会は3月3日から12日まで慎重に審査を行い、常任委員長が本会議で報告をしました。  
ここでは、各常任委員会で出された質疑の一部を抜粋、要約しています。

## 総務常任委員会



小川委員長

委員長 小川 律男  
副委員長 後藤 節子  
委員 落合 誠記  
" " 田村 正敏  
" " 遠藤 恭子  
" " 田部 明男

広報みぶの配置場所と今後の拡大は。



後藤副委員長

**答** 自治会や公共施設、コンビニに配置し、デジタル化を推進してホームページへの掲載やLINEでも配信しています。配置場所の拡大については、どのような場所に置いたら効果的なのかなどを検討していきます。

公用車購入事業のクリーンエネルギー自動車導入促進補助金について詳細は。



落合委員

**答** 軽自動車1台を約300万円で購入予定です。補助金活用により、実質負担は約250万円となります。

町有土地建物で何も利用していない町有土地は残っているのか。また、利用する予定や売却する予定はあるのか。



田村委員

**答** 行政として今後使う見込みがないという判断をされている町有地はかなりの件数があり、積極的に売却や貸し付けを検討していきます。

合併70周年記念式典やイベント等の詳細は。



遠藤委員

**答** 合併70周年記念事業については、副町長をトップとする実行委員会を設置し、300万円の補助金を予算計上しています。11月中旬の記念式典を中心に、町一体となつて1年間盛り上げていきます。

文書の保存については、どのようにしているのか。



田部委員

**答** 文書は原本を保存しています。情報公開の請求があった際は、原本をコピーして対応しています。

## 委員会での主な意見

- ◎移住定住支援について、支援金の金額や件数を大きく打ち出し、町外だけでなく町民に対してもPRをさらに行っていただきたい。
- ◎第7次総合振興計画等策定について、体育館や清掃センター等、今後想定される大きな事業についても計画に取り上げていただきたい。

教育民生常任委員会



中川委員長

委員長 中川 和典  
副委員長 玉田 秀夫  
委員 大島 菊夫  
" 鈴木 理夫  
" 戸崎 泰秀

証明書コンビニ交付事業について、マイナンバーカードを用いたのコンビニ交付の利用状況は。



玉田副委員長

答 1月末時点で、全体で28・2%がコンビニ交付を利用されています。詳細は住民票が25%、印鑑証明が34%、所得証明書が15%です。

施設介護サービスの給付費が前年と比較して1億1千万円の増額だが、今後の見込みは。



大島委員

答 認定者数が増加傾向にあることに加え、報酬改定があり、増額となりました。今後、高齢者も増加し、介護給付費は上昇していく見込みです。介護予防事業を強化し、介護給付費の抑制を図ります。

ドローン関連の予算の内容と、ドローンの使用目的は。



鈴木委員

答 ドローン飛行に必要な民間資格の年会費と、技術認定の費用です。歴史民俗資料館の学芸員がドローンの免許を取得し、愛宕塚古墳でのサギ被害の把握、桃花源古墳の全容の確認などに使用しています。

学校生活問題対策事業のハイパーQ-Uの効果、活用事例は。



戸崎委員

答 ハイパーQ-Uは、小学5年生と中学1年生で実施しています。いじめの早期発見や、クラスの雰囲気の変化を把握し、クラスの環境改善に役立っているとの話を伺っております。

※ハイパーQ-U：児童・生徒の満足感や意欲、学級集団の状態等を測定するアンケート調査

委員会での主な意見

◎介護給付費の抑制を図るため、今後、介護予防事業に力を入れていただきたい。

◎嘉陽が丘ふれあい広場の今後のあり方について、重要なこととして検討していただきたい。

建設経済常任委員会



大山委員長

- 委員長 大山 博
- 副委員長 坂田 昇一
- 委員 赤羽根信行
- 小牧 敦子
- 榆井 将太

壬生PAスマートインターチェンジの進捗状況と今後の工程は。



坂田副委員長

答 令和7年度の予算で、用地取得や物件保償費等を計上しています。用

地取得がスムーズに行きましたら、NEXCO東日本と連携しながら適時工程を作成します。工事はスムーズに進んだ場合、5年ぐらい要するようです。

中泉産業団地とおもちゃ団地北に出来る新産業団地の区割りは。



赤羽根委員

答 中泉の分譲面積は約15ヘクタールで、令和7年度予約分譲予定です。企業からは、1・5ヘクタール程度のニーズが高いこともあり、その程度の区画を複数用意する話もあります。ニーズに合わせていろいろな大きさ、区画に対応できるように考えています。おもちゃ団地北は公共施設を除き、4・5ヘクタール程度の分譲用地を考えています。1ヘクタール程度の区画も考え、町内事業者などからも手が上がるかを見通しながら、これから調整したいと考えています。

工場などの汚染排水が原因で地下水にPFOA・PFOSが検出されるが、町の水道水は。



小牧委員

答 令和2年より毎年1回、町の3配水池の水質検査をし、暫定基準値50ng/l以下であることと、汚染の原因となる施設もないことから心配ないと思われれます。

新規就農者支援事業において、経営確立支援の内容の詳細は。



榆井委員

答 農業を始めるにあたって、その活動を支援する経営開始資金や耕作に必要な機械などを購入するための経営発展支援事業、壬生町内に農地を所有又は借用し、新規就農認定されて、壬生に転入される場合の新規就農者定住奨励金などがあります。



(仮称) 壬生PAスマートインターチェンジ整備概要図

# 予算決議討論

(要旨)

定例会最終日の本会議において、各会計新年度予算案に対する採決に先だち、賛成・反対の討論が行われました。

## 議案第37号 令和7年度壬生町一般会計予算決議について



**反対** 相次ぐ物価値上げや様々な困難が町民の暮らしを取り巻いている中、町民の暮らしや生業、平和を守る施策・予算とは言えないことから反対します。  
(田部明男議員)



**賛成** 本予算案は壬生町の発展に向けた必要不可欠なものであり、「次世代を育み、持続可能な未来を切り拓く成長予算」として位置づけられ、壬生町の将来を見据えた多岐にわたる施策が盛り込まれていることから賛成します。  
(鈴木理夫議員)

## 議案第38号 令和7年度壬生町国民健康保険特別会計予算決議について



**反対** 国保税を払いきれない人がおり、物価高騰によりますます生活が大変な中、いつでも安心して医療を受けられる国民健康保険にするために、国の負担割合や町の繰り入れを増やすべきと考えるため反対します。  
(田部明男議員)

**賛成** 厳しい状況下であるが、低所得者等を対象とした負担軽減を図ったうえで賦課限度額を改定するなど、所得と負担の適正化に配慮した予算計上がなされており、住民負担の公平性に留意しつつ、国民健康保険制度を安定的かつ健全に維持・運営していくための予算編成であることから賛成します。  
(坂田昇一議員)

## 議案第40号 令和7年度壬生町介護保険事業特別会計予算決議について



**反対** 国に医療・介護分野での負担の増額を求めつつ、町が一般会計からの繰り入れを増やすなどして、利用者が安心して利用できる介護保険制度にすべきと考えるため反対します。  
(田部明男議員)

**賛成** 介護予防、医療と介護の連携、認知症の方をサポートするための事業費など、第9期計画が掲げる各施策を実現するための事業費が適切に計上され、「地域包括ケアシステム」や「介護予防」、「認知症施策」の推進に寄与する予算編成となっていることから賛成します。  
(玉田秀夫議員)

## 議案第41号 令和7年度壬生町後期高齢者医療特別会計予算決議について



**反対** 高齢者の医療費の負担割合を引き下げるなど積極的な医療政策に基づいておらず、後期高齢者の健康と医療を守る制度となっていないことから反対します。  
(田部明男議員)

**賛成** 後期高齢者医療制度の運営について厳しい状況が続くなか、相互扶助の精神に基づいた優しさ溢れる予算措置がとられているものと見受けられ、被保険者への十分な配慮がなされた予算編成となっていることから賛成します。  
(戸崎泰秀議員)

# 3月定例会

令和7年第2回定例会は、2月27日に招集され、3月14日までの16日間の会期で開かれました。

町長から提出された条例の制定が1件、条例の改正が20件、工事請負変更契約の締結2件、指定管理者の指定が1件、指定管理者の指定管理期間の変更が3件、町道路線の変更が1件、町道路線の廃止が1件、補正予算8件、当初予算7件、議員提出議案1件が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

## 条例

### 公益的法人等への職員 の派遣等に関する条例 の一部改正について

令和6年7月1日に設立され、令和7年度から「道の駅みぶ」の一角を構成する「壬生町総合公園及び壬生町おもちゃ博物館」の指定管理者として指定を受けている第三セクター「株式会社ラシックみぶ」において、本町のさらなる地域振興を見据え、今後、町とのさらなる連携のために職員の派遣が想定されることから、営利企業への派遣を可能とする規定を設けるため、条例の一部改正を行うものです。

本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

### 壬生町立学校施設開放 に関する条例の一部改 正について

学校体育館施設開放事業において、スポーツ活動における熱中症事故の防止の観点から、1時間あたり2000円の使用料を徴収し、町立中学校の空調設備を利用できるように条例の一部改正を行うものです。  
本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

### 壬生町消防団員の定員、 任免、給与、服務等に 関する条例の一部改正 について

時間帯を限定した活動や特定の災害種別のみ活動し、消防団活動を補完する「機能別消防団員制度」を導入するため、条例の一部改正を行うものです。  
本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

### 壬生町議会の個人情報の保護 に関する条例の一部 改正

壬生町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について（要旨）

提出者 壬生町議会議員 赤羽根信行  
賛成者 壬生町議会議員 落合 誠記

〃 鈴木 理夫  
〃 玉田 秀夫  
〃 坂田 昇一  
〃 榎井 将太

刑法等の一部を改正する法律において、「懲役」及び「禁固」を廃止し、「拘禁刑」を創設する改正がなされ、同法が令和7年6月1日に施行されることに伴い、条例の規定中、「懲役」の文言を「拘禁刑」に改めるよう、条例を一部改正するものです。

本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

# 令和6年度 補正予算 (令和7年3月定例会可決)

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計 (第6号)	7億4,107万円	173億5,452万円	各事務事業の精査に伴う過不足額を計上したほか、国の補正予算への対応、国・県補助事業の確定に伴う減額などを盛り込み、編成したもの。 【歳入】 ・新しい地方経済・生活環境創生交付金 4億1,372万7千円 ・子どものための教育・保育給付費負担金(国庫支出金) 6,046万6千円 ・道の駅みぶ再整備事業負担金 9,630万6千円 【歳出】 ・道の駅みぶ活性化推進事業 8億2,800万2千円 ・障害者自立支援給付事業 4,988万8千円 ・子どものための教育・保育給付事業 8,807万円	
一般会計 (第7号)	495万円	173億5,947万円	国家賠償請求事件に要する経費を計上し編成したもの。	
特別会計	国民健康保険 (第4号)	▲54万3千円	39億9,211万8千円 年度末を迎えるにあたり、歳入歳出全般について見直しを行い、編成したもの。 【歳入】 ・保険基盤安定繰入金(保険者支援分) 1,438万5千円 ・財政安定化支援事業繰入金 ▲1,290万8千円 ・その他一般会計繰入金 ▲571万2千円 【歳出】 ・職員給与費 ▲60万1千円 ・国民健康保険財政調整基金積立金 58万円	
	奨学資金 (第1号)	▲90万1千円	210万円 事業費が確定したことにより減額をするもの。 【歳入】 ・奨学資金支給基金繰入金 ▲89万9千円 【歳出】 ・奨学資金補助金 ▲90万円	
	介護保険事業 (第4号)	3,056万6千円	37億416万3千円 年度末を迎えるにあたり、歳入歳出全般について見直しを行い、編成したもの。 【歳入】 ・現年度分介護給付費負担金(国庫支出金) 436万6千円 ・現年度分介護給付費負担金(県支出金) 601万8千円 ・現年度分介護給付費交付金 862万7千円 【歳出】 ・居宅介護サービス給付費負担金 ▲2,545万円 ・施設介護サービス給付費負担金 4,653万6千円 ・地域密着型介護サービス給付費負担金 1,574万8千円	
	後期高齢者医療 (第4号)	▲3,567万7千円	6億3,228万7千円 年度末を迎えるにあたり、歳入歳出全般について見直しを行い、編成したもの。 【歳入】 ・現年度分特別徴収保険料 ▲3,714万2千円 ・現年度分普通徴収保険料 1,064万5千円 【歳出】 ・広域連合納付金(徴収保険料) ▲2,649万7千円 ・広域連合納付金(保険基盤安定負担金) ▲880万8千円	
水道事業会計 (第3号)	収益的収入	100万円	6億8,476万円	国の補正により国庫補助の追加が決定したことによる建設改良費を計上し、また年度末を迎えることから今年度の見込み額を精査し編成したもの。
	収益的支出	▲1,130万5千円	5億8,725万円	
	資本的収入	1億3,787万1千円	2億3,982万8千円	
	資本的支出	1億9,662万7千円	5億9,087万5千円	
下水道事業会計 (第4号)	収益的収入	▲4,879万円	17億648万9千円	国の補正により国庫補助の追加が決定したことによる建設改良費を計上し、また年度末を迎えることから今年度の見込み額を精査し編成したもの。
	収益的支出	▲4,861万4千円	15億4,494万2千円	
	資本的収入	4,325万7千円	9億6,803万円	
	資本的支出	2,867万円	14億7,878万円	

# 令和7年3月壬生町議会定例会議決結果と賛否状況

※田村正敏議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	大山	小川	中川	榎井	後藤	田部	戸崎	遠藤	赤羽	小牧	坂田	玉田	鈴木	大島	落合
			博	律男	和典	将太	節子	明男	泰秀	恭子	根信行	敦子	昇一	秀夫	理夫	菊夫	誠記
議案第1号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について (刑法等の一部を改正する法律において「懲役」及び「禁固」を廃止し「拘禁刑」を創設する改正に伴い、文言を整理するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について (派遣法に基づく営利企業への派遣を可能とする規程を設けるため条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	壬生町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について (人事院規則が公布され令和7年4月1日より適応すべき内容が示されたことから職場環境を整備するため条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び栃木県人事委員会の勧告に準じて関連条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び栃木県人事委員会の勧告に準じて関連条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町職員の給与に関する条例等の一部改正について (人事院勧告及び栃木県人事委員会の勧告に準じて関連条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	壬生町水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び栃木県人事委員会の勧告に準じて関連条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	壬生町下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について (人事院勧告及び栃木県人事委員会の勧告に準じて関連条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	壬生町国民健康保険税条例の一部改正について (国民健康保険税の賦課限度額の見直しに伴い、条例の一部を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	壬生町都市計画税条例の一部改正について (市街化区域における税負担の軽減を図るため都市計画税を令和7年度も引き続き課税しないように条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	壬生町立学校体育施設開放に関する条例の一部改正について (熱中症事故の防止のため、必要な受益者負担を徴収したうえで中学校体育館の空調設備を利用できるよう条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	壬生町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について (国が定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	壬生町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正について (国が定める「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」の一部改正に伴い、条例を改正するもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	壬生町地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例の一部改正について (地域包括支援センターの職員の配置基準の柔軟化を図るため条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	壬生町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について (地域包括支援センターの職員の配置基準の柔軟化を図るため条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	壬生町工場立地法準則条例の一部改正について (「みぶ中泉産業団地」において、緑地面積率の下限を5%、環境施設面積率の下限を10%に緩和するため条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	壬生町おもちゃ博物館設置及び管理運営に関する条例の一部改正について (第三セクター「ラシックみぶ」への指定管理業務委託において、指定管理者が町長の承認を得て、おもちゃ博物館の利用料金を定めるため条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	壬生町都市公園条例の一部改正について (第三セクター「ラシックみぶ」への指定管理業務委託において、指定管理者が町長の承認を得て、町総合公園の有料公園施設の利用料金を定めるため条例の一部改正を行うもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

※田村正敏議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	大山博	小川律男	中川和典	榎井将太	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第19号	壬生町高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について （「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令」が公布されたことに伴う条ずれに対応するために改正を行うもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	壬生町消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部改正について （時間帯を限定した活動や特定の災害種別のみの活動により、消防団活動を補完する「機能別消防団員制度」の導入のため条例の一部改正を行うもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について （機能別消防団員の報酬について、一般団員との出勤回数を考慮し、新たに設定するための改正を行うもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	デジタル田園都市国家構想交付金事業 まちなか創生拠点施設整備工事請負変更契約の締結について （「まちなか創生拠点施設整備工事」について、契約額及び工期に変更が生じたため、工事請負変更契約を締結するために議会の議決を求めるもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	デジタル田園都市国家構想交付金事業 道の駅みぶ管理棟及びトイレ棟整備工事請負変更契約の締結について （「道の駅みぶ管理棟及びトイレ棟整備工事」について、工事内容及び契約金額等に変更が生じたため、工事請負変更契約を締結するために議会の議決を求めるもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	指定管理者の指定について （「壬生町就労支援施設むつみの森」及び「壬生町こども発達支援センタードリームキッズ」の指定管理期間が令和7年3月31日をもって満了になることから、指定管理者を「社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会」に指定するもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	指定管理者の指定管理期間の変更について （「社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会」が指定管理者である壬生町学童保育施設（壬生小、睦小、安塚小）の指定期間を「令和7年3月31日まで」から「令和8年3月31日まで」に変更するもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	指定管理者の指定管理期間の変更について （「社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会」が指定管理者である壬生町学童保育施設（壬生東小、壬生北小）の指定期間を「令和7年3月31日まで」から「令和8年3月31日まで」に変更するもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	指定管理者の指定管理期間の変更について （「公益財団法人 壬生町シルバー人材センター」が指定管理者である壬生町学童保育施設（稲葉小、羽生田小、藤井小）の指定期間を「令和7年3月31日まで」から「令和8年3月31日まで」に変更するもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	壬生町道路路線の変更について （道路改良工事の完成に伴い、延長及び幅員に変更が生じることとなった2路線（一級町道12号線及び一般町道1-248号線）の路線を変更するもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	壬生町道路路線の廃止について （近接している町道の道路改良工事の完成により、未供用の1路線（一般町道1-274号線）について路線を廃止するもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和6年度壬生町一般会計補正予算（第6号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和6年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	令和6年度壬生町奨学資金特別会計補正予算（第1号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	令和6年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	令和6年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	令和6年度壬生町水道事業会計補正予算（第3号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	令和6年度壬生町下水道事業会計補正予算（第4号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	令和7年度壬生町一般会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和7年度壬生町国民健康保険特別会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和7年度壬生町奨学資金特別会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和7年度壬生町介護保険事業特別会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和7年度壬生町後期高齢者医療特別会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和7年度壬生町水道事業会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和7年度壬生町下水道事業会計予算決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和6年度壬生町一般会計補正予算（第7号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	壬生町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について（議員提出）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

# 1月臨時会

令和7年第1回臨時会は1月30日に開かれました。  
町長から提出された補正予算6件の6議案が上程され、いずれの議案も  
原案のとおり可決しました。

## 令和7年1月壬生町議会臨時会議決結果と賛否状況

※田村正敏議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	大山博	小川律男	中川和典	榎井将太	後藤節子	田部明男	戸崎泰秀	遠藤恭子	赤羽根信行	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	鈴木理夫	大島菊夫	落合誠記
議案第1号	令和6年度壬生町一般会計補正予算（第5号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和6年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和6年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和6年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和6年度壬生町水道事業会計補正予算（第2号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和6年度壬生町下水道事業会計補正予算（第3号）決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

### 令和6年度 補正予算（令和7年1月臨時会可決）

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計（第5号）	2億7,748万7千円	166億1,345万円	<p>国の補正予算に伴い増額された普通交付税や物価高で困難な状況にある生活者・事業者を支援する重点支援地方交付金を財源とした事業に要する経費並びに職員給与費の改定等に伴うものを盛り込み編成したものの。</p> <p>【歳入】 ・普通交付税 1億8,699万8千円 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1億2,827万円</p> <p>【歳出】 ・特別職・一般職給与費 1,261万5千円</p>	
特別会計	国民健康保険（第3号）	98万5千円	39億9,266万1千円	<p>職員給与費の改定等に伴う増額を計上し編成したものの。</p> <p>【歳入】 ・職員給与費等繰入金 98万5千円</p> <p>【歳出】 ・職員給与費 89万3千円 ・総合事務組合負担金 9万2千円</p>
	介護保険事業（第3号）	464万3千円	36億7,359万7千円	<p>職員給与費の改定等に伴う増額を計上し編成したものの。</p> <p>【歳入】 ・職員給与費等繰入金 381万5千円 ・要介護認定事務費繰入金 82万8千円</p> <p>【歳出】 ・職員給与費 358万2千円 ・介護認定調査員報酬 82万8千円</p>
	後期高齢者医療（第3号）	29万円	6億6,796万4千円	<p>職員給与費の改定等に伴う増額を計上し編成したものの。</p> <p>【歳入】 ・事務費繰入金 29万円</p> <p>【歳出】 ・職員給与費 23万7千円 ・総合事務組合負担金 5万3千円</p>
水道事業会計（第2号）	収益的支出 43万2千円	5億9,855万5千円	職員の人件費の過不足等を計上し編成したものの。	
下水道事業会計（第3号）	収益的支出 ▲194万2千円	15億9,355万6千円	職員の人件費の過不足等を計上し編成したものの。	
	資本的支出 ▲879万9千円	14億5,011万円		

# 生態系を守る対策「昆虫体験学習館、昆虫ドーム」の設置を

町長

他自治体の事例等も参考に実現可能性を慎重に評価する必要があると考えます



大島 菊夫 議員

町にはカブトムシやオオムラサキなど、多様な生物が生態系を維持し自然と調和しながら生息している。小学生・中学生の段階から自然につい

て考える機会が必要と考  
えるが、町の考えはいか  
か。

町長 小学校低学年の授業

で朝顔、トマト、キュウリ  
などを育成し、高学年では  
タブレットを活用し、動植  
物の特徴や成長を学習する  
ほか、メダカの観察を行う  
など、自然環境に触れ合う  
授業を実施しております。

また、ゼロカーボンシテイ  
プレゼン発表大会は、環境  
保全の重要性について学  
習・発表する場となってい  
ます。

近年、産業団地造成  
で大規模に平地林の伐採  
が行われ、また圃場整備  
で農用地の大型区画化が  
進んでいる。そこに住ん  
でいる生き物を守ってい  
くことも考えるべきと思  
うがいかがか。

町長 産業団地の造成では、

環境影響評価条例に基づ  
くアセスメントを実施し、  
開発による環境への影響の  
緩和及び保全対策を実施し  
ました。また、猛禽類サシ  
バの保全のため、保安林の  
整備や調整池へのピオトー  
プ機能の設置などを行いま  
した。圃場整備事業につい  
ても、生態系配慮型工法を  
導入し、環境負荷の軽減を  
図っています。



国蝶オオムラサキなどの昆虫

自然環境の破壊が進  
むなか、水生生物・昆虫  
(カブトムシやオオムラ  
サキ)などを保護し、壬  
生の子ども達が自然の重  
要性や生命の神秘などを  
学ぶための昆虫体験学習  
館やカブトムシドームの  
設置を提案するがいかが  
か。

町長

昆虫体験学習館や昆  
虫ドームの設置は、子ども  
たちが昆虫や水生生物と触  
れ合う貴重な機会の提供に  
つながると認識しています。  
こうした施設は、環境教育  
の場としても期待されます  
が、設置にあたり運営・維  
持管理コストや地域住民の  
参加体制など多くの課題が  
あるため、他自治体の事例  
等も参考に実現可能性を慎  
重に評価する必要があると  
考えています。

# 生産年齢人口(15歳から64歳の人口)の減少による、労働力不足の課題は

副町長 経済活動の縮小や社会保障制度の維持等への影響が懸念され、長期的観点での解決策が求められています



中川 和典 議員

生産年齢人口の推移  
と、今後の労働供給不足  
の見通しは。

副町長 2000年の2万

7,703人をピークに減  
少に転じ、2050年には  
1万6,428人と約41%  
減少することが見込まれ、  
高齢の方の活躍の場を創出

し、幅広く社会活動の維持  
に参加していただくことも  
課題改善の一助になると考  
えます。

町長 移住促進策や、女性  
・高齢者の就労支援策は。

副町長 令和4年度から実

施の壬生町立地企業雇用確  
保移住支援策に7件、東京  
圏から栃木県運営の就職支  
援サイトの求人就職や起  
業された方への壬生町移住  
支援事業に4件、新規就農  
者定住奨励金事業に2件の  
実績があります。また令和  
6年度は2回、女性とシニ  
アのための就職活動個別相  
談会を開催し、合計5人の  
参加がありました。

町長 デジタル化やAI・  
ロボティクスの活用を進  
めるための支援策は。

副町長 設備等合理化資金  
及び小規模企業者資金の融  
資制度や町が費用の一部を  
補助する町商工会の「商工  
業主力UP支援事業」、また  
事業者から提出される中  
小企業等経営強化法に基づ  
く先端設備等導入計画を町  
が認定することで固定資産  
税が軽減される制度があり  
ます。

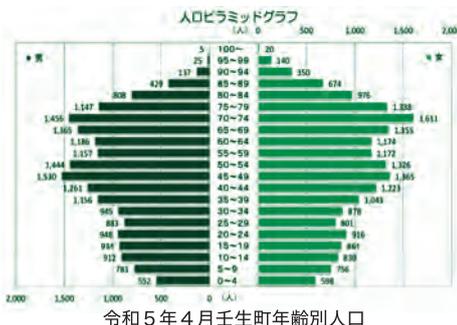
町長 介護・福祉分野の人  
材不足の現状と今後の見  
通しは。

副町長 今年度は団塊の世代  
が全て75歳以上となる20

25年問題を迎え、介護サ  
ービスの需要増加に伴い、  
将来的には介護人材不足が  
想定されます。  
国や県が行う介護人材確  
保対策事業や介護報酬の処  
遇改善加算等の各種加算制  
度等について、事業所等へ  
周知を徹底することで介護  
人材確保につなげ、今後も  
引き続き住民が安心して介  
護サービスを受受できる体  
制の整備に努めます。

町長 町の業務を実行する  
上で生成AI等の活用は。

総合政策課長 AI文字起  
こシステムは既に活用し  
ており、令和7年度からの  
ChatGPTの導入に向け、  
インターネットを經由  
しないでセキュリティを担  
保し企画立案等アイデア出  
しの補助やメール説明文な  
どの原案作成等の作業を進  
め、事務の効率化で職員  
の負担軽減につなげていく  
ものを導入していきたいと  
考えます。



令和5年4月壬生町年齢別人口



小川 律男 議員

# 住み慣れた地域で暮らすための高齢者福祉について伺う

住民福祉部長

第9期壬生町高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者施策を推進しています



どに、町外の医療機関への通院等に利用できるタクシー利用券を交付しています。利用者の負担は料金の2分の1、または2,000円の少ない額で、3,000円を上限に残額を町が負担しています。

利用実績は、令和5年度は延べ188人、447回、令和6年度は令和7年1月末現在で延べ176人、380回です。

**問** 安否確認・緊急通報システム等貸与の概要と実績は。

**住民福祉部長** 日常生活に不安のある65歳以上のひとり暮らし高齢者等に、ボタンを押すことで民間の受信センターに連絡できる緊急通報システムを貸与しています。利用料金は利用者の負担となります。

**問** 生活支援ボランティア派遣事業（つなぐ輪みぶ）の概要と実績は。

**住民福祉部長** 高齢者は誰でも利用でき、掃除や

**住民福祉部長** 65歳以上のひとり暮らしや60歳以上の下肢が不自由な方

**問** 外出支援サービスの概要と実績は。

買い物・通院の付添い等の日常生活の困りごと、有償ボランティアの支援を受けることができます。1時間500円の利用料がかかります。

利用実績は、延べ人数で、令和5年度は615人、令和6年度は9月までで311人です。

**問** 介護者サロンと介護者の心のケアについて伺う。

**健康福祉課長** 当事者たちの集まりである介護者サロンや認知症予防のためのオレンジカフェを実施しています。このような交流の場の提供を今後も続けたいと考えています。

**問** 高齢者の寝具洗濯・乾燥・消毒サービスについて伺う。

**健康福祉課長** 業者が寝具を引き取りに行き、預かっている間の寝具も提供されます。令和7年度は年1回1,080円で実施します。

高齢者世帯の利用促進のため、広報等で周知したいと考えています。

# 壬生町の不登校対策は

教育長

不登校の未然防止と改善のために12の施策を講じて対応しています



玉田 秀夫 議員

徒に対する不登校の割合は、小学校が0・84%、中学校が3・56%です。県や全国との比較では、小学校が半分以下、中学校は約半分です。

**問** 学校と教育委員会の連携により不登校の未然防止に取り組んでいる教育支援センター【みぶり】に登校している児童生徒数と相談内容は。

**学校教育課長** 2月末現在、通級児童・生徒数は、小学生が10人、中学生が13人です。相談件数は、電話相談が延べ1,227件、直接面談が345件です。

相談内容は、不登校の他、子育てや学校生活の不安等です。

**問** 令和6年度に初めて予算がついた学校適応等支援事業の内容は。

**教育長** 県の補助金を活用し、両中学校に1人ずつ不登校対応の教員助手を配置しています。教室に入れない生徒を温かく迎え入れ、別室登校や教室復帰を手助けし、学習面・健康面で手厚いサポートをしています。また、不登校生徒の保護者対応などを行っています。

## 国谷駅前広場（西口）整備事業

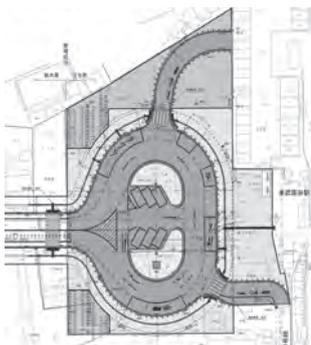
**問** 地権者及び対象住宅数は。

**都市計画課長** 地権者は11人、14筆で、対象物件所有者は11人です。住宅所有者が5人、工作物所有者が11人です。

**問** 事業の進捗状況と今後のスケジュールは。

**町長** 令和4年度の事業着手から実施設計や用地測量、土地評価、物件調査等を実施しました。令和5年度から本格的に用地交渉を実施し、用地買収の進捗は、面積ベースで約72%、契約者ベースで約70%です。

令和7年度は引き続き用地交渉を実施し、事業用地の取得に努め、事業区域北側の一部について工事を実施する予定です。令和8年度以降は、継続して工事を実施します。



国谷駅西口広場（予定）

# 道路・下水道等インフラの維持管理は

## 建設部長 安全・安心で快適な生活を図るため計画的、効果的に事業に取り組んでいます



大山 博 議員

**建設部長** 町道の総延長は、令和5年度末で約574キロメートルで、職員のパトロールや町民からの情報提供により異常箇所を把握しています。小規模なものは職員が作業を行うほか、専門的な工

**問** 町道の総延長は。また、町道の維持管理はどのようにしているのか。

**問** 町道パトロールでは、舗装の破損、水溜り、路面の段差などいろいろな状況に出会うと思うが、それらを、どの様に対処しているか。

事については、道路維持管理業務委託により維持管理を行っています。

**建設部長** 破損箇所の程度や規模に応じて、職員が直接作業を行うほか、道路維持管理業務委託や修繕工事を発注し対処しています。また、特段基準は設けず、破損箇所の緊急性や効果的な工法などを総合的に判断し改修や修繕を行っています。

**問** 町には、北部処理区、流域下水道があると思うが、町で管理する下水道の延長、最大径は。また、管理方法は。

**建設部長** 北部処理区・公共下水道の延長は約135キロメートル、流域関連下水道王生処理区の汚水管の延長は約67キロメートルで、埋設されている管の最大径は0.9メートルです。また、雨水管の延長は約22キロメートル、最大径2メートルになります。

管理は職員が主要な幹線上の路面状況を目視で確認し、管路の内部の破損や劣化状況については、専門業者による管理点検を実施し状態を定期的に確認しています。

**問** 町内には県の管理する下水道もあると思うが、調査はどのようにしているか。また、県との連携は。

**下水道課長** 県が管理している管路の延長は約2.5キロ、最大径0.9メートルのヒューム管で中継ポンプ場も県の管理になり、県が作成した要領に従い緊急時に連絡が取れる体制を取っています。

**問** 北部処理区は供用開始後57年ほど経過しているが、調査した管路はあるか。また、調査しているれば、管の状況は。そして、今後、下水管の調査や管更生などの計画はあるか。

**建設部長** 平成27年度に雨水幹線の目視調査、平成28年度に汚水幹線の調査を実施しました。平成30年度より管渠老朽度調査を専門業者に委託し、継続的に毎年実施しており、今後も老朽化施設の修繕を進めます。



カメラでの下水管点検

# 誰もが快適で使いやすい公共交通サービスの提供に向けて

## 町長 3つの公共交通の新たな取組や改善、検討等を行い、より便利かつ持続可能な公共交通となるよう事業を推進していきます



鈴木 理夫 議員

**町長** 令和5年度末における「みぶまる」の登録者数、利用者数は。

**問** デマンドタクシー「みぶまる」、コミュニティバス「みぶーぶ」の登録者数、利用者数は。

**町長** 令和5年度末における「みぶまる」の登録者数は7,312人、令和5年度の利用者は延べ7,048人です。令和6年度につきましては、1月末の時点で登録者数が7,778人、利用者数は延べ6,930人で、利用者数はコロナ禍で一時期減少していましたが、現在はコロナ禍以前の水準に戻りつつあります。

**問** 「ゆうがおバス」の現状と公共交通の課題は。

**町長** 「ゆうがおバス」は獨協医科大学病院とJR石橋駅を結ぶバスで、町が運行支援しています。課題は、乗り継ぎスポットが南部の「ゆうがおパーク」1か所に限定されているため、北部の住民にはアクセスしづらいことです。

**問** 公共交通に係る経費は。

ト設置を含め、下野市や上三川町と協議を進め、調査研究中です。

**町長** 令和5年度の実績では、「みぶまる」の運行に係る経費は1,501万9,317円で、そのうち公的資金投入額が1,321万6,517円です。また、「みぶーぶ」の運行に係る経費が5,005万2,296円で、そのうち公的資金投入額が4,610万3,096円です。



運行中のコミュニティバス「みぶーぶ」

# 農業者に持続可能な政策を

町長

強い農業・農村の構築と農業者の所得向上を図り、各種支援策等及び圃場整備の推進をしていきます



坂田 昇一 議員



**問** 政府が備蓄米を放出し価格安定の効果はいつ頃出るかと考えますか。

**町長** 備蓄米の販売は3月下旬以降となる見込みで、4月以降に一定の効果が見られるのではないかと考えます。

**問** 町の令和7年産主食用米の作付面積と令和6年産を比較しての増減は。

**町長** 令和7年産主食用米作付参考値は843ヘクタールで、令和6年産767ヘクタールと比較し、76ヘクタールの増加となりました。

**問** 「水活」水張ルールについて農家から相談を受けた内容は。

**町長** 「既存のポンプが故障し、修理するのに数十万かかるがどうすれば良いのか」や「水張りが困難な水田を貸しているが、このままでは耕作者から農地を返されてしま

う」等の相談が寄せられました。

**問** 休耕田で麦・大豆・飼料用トウモロコシ等の転作作物に取り組む農家数と総面積は。

**町長** 令和6年度に水田を活用して麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米等の作付を実施し、水田活用の直接支払交付金の申請を行った農家数は104戸で、総面積は274ヘクタールです。



休耕田の水張り状況

定例会概要

臨時会概要

一般質問

みぶぎかいカフェ

トピックス

## これからの商工業の在り方は

町長 「特色ある商業のまちづくり」及び「活力ある工業のまちづくり」を進めています



赤羽根 信行 議員



**問** 蘭学通りの活性化への計画はあるか。

**町長** まちなか創生の拠点「ふらっと壬生テラス」の民間活力導入エリアに、たいらや壬生店が開店する予

定であり、同公共エリア内にチャレンジショップを開設し、新たな人流が生まれることにより、にぎわいをもたらされると考えています。また、蘭学通りを会場としたイベントとして、昨年は春に、しのめ花まつりとレディライクマルシェの時期に合わせ、蘭学通りスタンプラリーを初めて開催、夏に八坂祭、秋は壬生流ふくべたちのハロウィンナイト等が開催され、町内外から幅広い世代のお客様に蘭学通りを訪れていただいています。

今後も、商工会と連携を図り、各種イベントの集客力とふらっと壬生テラスを活用することで、町内商業者の魅力をPRし、蘭学通り活性化の方策を検討していきます。

**問** 中泉新産業団地の区割りと中小企業進出状況は。

**町長** 令和5年9月に事業主体が栃木県企業局に決定し、整備が進められています。

令和7年度中に予約分譲案内を開始し、令和10年度

に企業への土地の引渡しをする予定です。区画割りは約1・5ヘクタールから約4・6ヘクタールの5つの区画を案内しており、企業からは1・5ヘクタール前後の間合せを多くいただいています。一部の区画は分割し約1・5ヘクタールの区画を3区画用意する予定があります。また、まとまった面積の土地利用を検討している企業へも、複数の区画を組み合わせ柔軟に対応できると伺っています。

**問** 「道の駅みぶ」の来場者増加を見込むための計画検討はあるか。

**町長** 道の駅みぶを地域社会の発展と活性化に寄与する拠点施設として、3つの基本施策「利用者の動線を考慮した施設の再配置及び再整備」、「独自性及び特産性の高いいちごを中心とした新たな商品を開発」、「魅力的で目的地として行きたい道の駅に選ばれること」に基づき、株式会社ラッシュクミぶとの連携の下、来場者の増加等を目指してまいります。

# 学校給食の現状と無償化へ向けた課題とは

**教育長** 国・県の施策としての財政負担が必要であり、今後の動向を注視し実現に向けた検討をしていきます



遠藤 恭子 議員

**教育長** 約1億4,000万円と多額の予算が継続的に必要になり、町単独で行うには負担が多く、国・県の施策としての財政負担が

**問** 国では、給食費無償化が議論されていますが、町の考えはいかがか。

**問** 無償化のメリット・デメリットをどのように捉えているか。

**教育長** メリットは、小学校で年間4万9,500円、中学校で年間5万7,200円の保護者の経済的負担軽減が見込まれます。デメリットは、保護者の子育てに対する責任感の薄れ等が懸念され、アレルギーや不登校等で給食が食べられない児童生徒との間に不公平感が生じる等の課題もあります。

**問** 町内の小中学校に給食のメニューの違いはあるか。また、親子（保護者参加）給食を陸小学校と壬生北小学校以外にも実施の予定はあるか。

**学校教育課長** 給食の献立は各校で決められ、概ね同じような給食が提供されています。親子給食は、親子で給食の良さを味わっていただきますので、他の学校にも勧めたいと考えます。

**問** 食材の高騰はメニューにどのような影響を与えるか。更に食材が高騰した場合、従来の学校給食を維持できるか。

必要であると考えます。

**学校教育課長** 安価な食材を中心にした献立になり、デザートや行事食が縮小される場合もあります。令和7年度はすくすくランチサポート事業を毎月350円から500円に増額して補助を行い、給食費も小学校は毎月200円、中学校は300円を保護者に増額ご負担いただき、安定した給食を供給していきます。

**問** 調理員の調理中の熱中症対策はどのように取られているか。可搬式スポットクーラーの性質は。

**学校教育課長** 冷却ファンバストやネッククーラー等を配付して対応しています。令和7年度は可搬式のスポットクーラーを全校に配置し、ガス回転釜作業後等に冷たい風を浴びてリフレッシュし再度調理ができるように整備します。

**問** 調理員の調理中の熱中症対策はどのように取られているか。可搬式スポットクーラーの性質は。



壬生町の学校給食

# 壬生町の人口減少対策と定住促進は

**副町長** 引き続き社会状況を見据えながら、有効な施策の検討に努めます



榎井 将太 議員

**問** 壬生町の人口推移、特に若年層や子育て世代の転出入の状況について、具体的なデータを伺う。また、人口減少の要因や課題は。

**副町長** 町の人口の推移としては、令和4年度当初は

3万8,685人、令和5年度当初は3万8,473人、令和6年度当初は3万8,281人と減少傾向が続いています。15才以下の子どもは転入出では、令和4年末は4人、令和5年末は53人、令和6年末は31人とこの3年は転入超過となっていますが、出生数の減少と高齢化の進行により、町の人口も減少傾向になっています。要因としては、自然減の影響が大きく、また、婚姻数・出生数の減少等、複数の課題が関連していると考えられています。

**問** 移住・定住を促進するために、現在実施している具体的な支援策（住宅支援、移住者向け補助金、空き家活用事業など）について伺う。また、他自治体の成功事例を参考にしながら新たな施策の検討状況については。

**副町長** 東京圏在住の方・新婚夫婦の方・空き店舗を活用し開業される方・新規就農者の認定を受けた方・空き家を活用される方などを対象に各支援事業や補助事業、定住奨励金事業などがあります。成功例としては山間部の自然景観をP

Rした例がありますが、本町には難しい点もあると捉えています。本町においては英語教育やICTの活用等による教育環境の充実と利便性の高さ等をPRするのが有効と考えます。

**問** 若者や子育て世代が定住しやすい環境を整えるために、町内での雇用創出や子育て支援の充実について、どのような施策を進めているか伺う。また、町内の企業との連携を強化し、若年層が地元で働きやすい環境を作るための支援策を伺う。

**副町長** 整備中の中泉産業団地や新たな産業団地を推進し、企業を誘致することで雇用を創出します。子育て支援の充実については、来年度より実施する一時預かり無料券配布や入学準備子育て応援券配布、不妊治療費補助制度など、町独自の子育て支援策に加え、学童保育の拡充などを進め、子育て世代の本町在住を促進します。また、本町内の企業に就業し移住された方を対象に奨励金を交付します。



田部 明男 議員

# 生の子どもたちのために 学校図書館の充実を

## 教育次長 児童・生徒の読書ニーズを把握し適切な図書を選定を行い、読書活動の推進をしていきたい



の配置が必須であり、壬生小学校など6校が対象となりますが、町では、壬生北小以外の9校に兼任の図書館司書教諭を配置しています。

**問** 学校図書館同士や他の館との連携についての考えは。

**学校教育課長** 各学校間では情報交換しながら、図書の選定や、目標などを立てていると思われま

す。また、図書館を使った調べる学習コンクールがあり、小学生が図書館や資料館に出向き、興味を持ったテーマを調べて1冊にまとめる事業があります。また、町には移動図書館もあり、学校にない本を借りることもできます。

**軽度・中等度の加齢性難聴者に補聴器購入の補助を**

**問** 補聴器の取得が耳に優しい生活に欠かせません。専門家の学会は、「難聴は、認知証、うつ病など様々な疾患の発症リスクと関連する」と指摘されていると指摘しており、購入費を補助するなどして必要な人に早い段階で補聴器を普及させることが重要だと考えられているかがか。

**健康福祉課長** 補聴器のみの助成が有効な効果をも

**学校教育課長** 12学級以上ある学校には、図書館司書



学校図書館

**未就学児の国保税均等割をゼロに**

**問** 国の補助と合わせ、町が約200万円弱繰り入れれば可能と考ええるが、町の考えはいかがか。

**税務課長** 軽減措置を受けている方で、直接子どもとは関係なくとも、苦しい中でお金を払っていただいている状況があります。そういう意味でも、応分の負担を求めることは仕方のないことと考えます。

# 自治体DX推進計画の進捗は

## 総務部長 令和4年度に壬生町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例を制定しました



落合 誠記 議員

- ⑤自治体のAI・RPAについて伺う。
- ⑥デジタル実装の取り組み&地域のデジタル化について伺う。
- ⑦デジタルデバイス対策について伺う。
- ⑧規制の点検・見直しについて伺う。

- ①自治体フロントヤード改革の推進について伺う。
- ②自治体情報システムの標準化・共通化について伺う。
- ③マイナンバーカードの普及促進・利用促進について伺う。
- ④セキュリティ対策の徹底について伺う。

④庁内ネットワークをインターネット接続系、日々の業務を行うL2WAN（総合行政ネットワーク）接続系、住基ネットに接続し個人情報等を扱うマイナンバー利用事務系の三つに分けることで、リスクを分散し、基幹業務をネットワーク上の脅威から守っております。

**総務部長** ①令和4年度の庁舎移転を契機に、「書かせない」「待たせない」「迷わせない」「行かせない」をキーワードとするフロントヤード改革への取組を進めています。②令和7年度末までに住民基本台帳等のシステムを標準化・共通化が義務付けられ本町では令和7年7月頃の移行を目指し、着実な移行に向けて作業を行っています。③令和7年1月末日時点での保有率は79.6%で、全国・県平均を上回っている状況です。

### 3 自治体DX推進計画改定（2023年11月）

自治体フロントヤード改革が重点取組事項の筆頭に

<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体DX推進計画の改定</li> <li>自治体DX推進計画の改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体DX推進計画の改定</li> <li>自治体DX推進計画の改定</li> </ul>
--	--

⑦町社会福祉協議会とともに企業と連携したスマートフォン教室を開催するとともに、生涯学習館では町民を対象としたスマートフォン講座を実施しています。⑧国が作成したマニュアルを参考にアナログ規制の点検・見直しについても検討を進めたいと考えています。

# 「子どもの権利」は広く知られていないが周知はどのようなか

**こども未来課長** 夏休み前に小・中学校、幼稚園等を通して児童虐待、子どもの権利の啓発も含めた内容のチラシを配布しています



小牧 敦子 議員

**問** 子どもの権利条例やいじめなどの権利侵害からの救済申立制度の必要性はいかがが。

**こども未来課長** 条例の制

**問** 誰もが気軽に立ち寄れることも食堂設置の進捗は。若者の居場所と学習スペース確保に児童館や図書館、公民館の活用はいかがが。

**こども未来課長** 子どもの居場所づくりの取り組みを行う団体等に対して運営費等の一部を補助する事業を

**こども未来課長** 計画で掲げた各種事業は各所管課で毎年、事業評価し、進捗の確認をしていきます。また、子ども・若者を含めて意見聴取を行い、反映をさせていただきます。

**問** こども計画策定にあたり聴取した子どもの意見はどのような施策に反映し、今後はどのように聴取されるか。

は、実態としていじめを受けた児童・生徒が訴えることにとどのような支障があるのかを把握し、適切な方法の調査・研究を考えています。

定については、子どもの権利の理解促進や認識の向上に有効であると考えています。まずは、さまざまな視点から取り組みを整理していきたく考えています。また、申立制度については、実態としていじめを受けた児童・生徒が訴えることにとどのような支障があるのかを把握し、適切な方法の調査・研究を考えています。



真岡市子ども・子育て基本条例

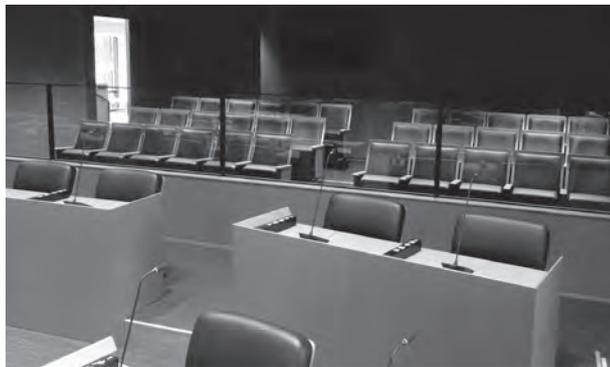
**こども未来課長** 今後子育てに対する経済的な負担を全体的に見極めて、必要な事業を研究していきます。

**住民福祉部長** 保護者の孤立を防ぐため、母子・父子自立支援員等と協力し、支援していきます。

**問** 子どもの不登校や障がい、親の離職の要因になっているが支援策は。また、両中学の制服がリニューアルされ、今後3年間は制服リサイクルの利用が困難になる。既存の支援で足りるのか。

予定しています。また、令和6年度は夏休み期間中、高校生までを対象に児童館の図書スペースを学習スペースとして開放し、図書館、南犬飼地区公民館分館、稲葉地区公民館、生涯学習館にも学習スペースを設置しています。

## 議会の傍聴に来ませんか？



議会は一般に公開されており、傍聴は議員の活動に触れることのできる最も身近な方法です。

議会事務局の受付カウンターで「傍聴人受付簿」に氏名・住所を記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

次回の定例会は6月3日(火)からの予定です。

## ▶ 一般質問の様様をインターネットで録画配信しています。



議会では町民に開かれた議会を目指し、様々な取り組みを行っています。その一つとして、インターネットで一般質問の録画配信を行っています。

一般質問の様様を、パソコンやスマートフォン等で視聴することができますので、ぜひご覧ください。



こちらの二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからもご覧いただけます

# 今回は壬生町の商工会青年部の方と



テーマ

『これからの商工業のあり方』

2月10日 議会と住民との懇談会

## 「みぶぎかいカフェ」開催報告



6回目となる今回は商工会青年部の  
 方々が普段会議等を行っている、壬生  
 町商工会に出向いて開催しました。  
 商工会青年部10人の方と、ざっくば  
 らんに地域課題について語り合う形で  
 意見交換を行いました。

本町議会では町民の皆様  
 に議会の活動状況を知って  
 いただくとともに、議会活  
 動や町政に対する意見を聞  
 かせていただくために懇談  
 会を開催してきました。

### 議会と住民との懇談会運営委員会

- 委員長 榆井 将太
- 副委員長 小川 律男
- 委員 落合 誠記
- 〃 玉田 秀夫
- 〃 赤羽根 信行
- 〃 遠藤 恭子
- 〃 田部 明男
- オブザーバー 田村 正敏 (議長)
- 〃 戸崎 泰秀 (副議長)



## 意見交換会でのご意見・ご要望

- 蘭学通りの町並みのデザインを統一すれば、若者に魅力ある通りにできる
- 空き家や空き店舗を活用して、シェアオフィスやレンタルスペースに
- 町と民間が一体となった蘭学通りの再構築を目指したい
- わんちゃんイベントを通して地域交流、観光、経済振興につなげたい
- わんちゃんと住みやすい町として全国にアピールできる
- スケボー場やBMXコースなど、若者のための動きのあるスペースにしたい
- 起業希望の若者と、後継者不在の事業者をマッチングする仕組みが欲しい
- 商店街の中にシェア型の店舗スペースや創業支援施設をつくりたい
- 若者たちが“自分の町で挑戦できる場”が必要
- ベンチャー企業を集めて、起業家コミュニティを形成したい
- 移住者支援や若者への住宅・起業補助を手厚くしたい
- 地域の個性を生かした「魅力あるまちづくり」に町全体で取り組みたい

### 終了後のアンケートより

- 城下町壬生の再生に期待している
- わんちゃんにも優しい町になったらうれしい
- このような場をもっと増やして町民が暮らしやすい、中小企業が働きやすい町にしてほしい
- このような会をもっとたくさんあるとうれしい



### 町長に結果報告書を提出

みぶぎかいカフェでいただいた皆様からのご意見・ご要望をとりまとめ、3月14日に小管町長に提出しました



# TOWN VOICE

町民の方の声を  
紹介します

**古**い歴史のある町です。  
それぞれの時代で、面白い歴史が  
たくさんある町です。



壬生町の  
ここが好き

こんな町に  
なってほしい

そうとめ はるか  
**早乙女 春香** さん  
(有機栽培農業者)

**自** 然を大切に!!  
人も動植物も、すべての命が  
いきいきと輝く、町になってほしいです。

## 議会広報特別委員会



委員長

小川委員 大山委員 中川委員  
後藤副委員長 榎井委員長



# 更新中



壬生町議会

壬生町議会Facebookページ

町民の皆様には議会を身近な存在に感じていただけるように、議会情報や活動状況などを迅速に、分かりやすく発信していきます。ぜひ、ご覧いただき「👍 いいね！」してください。



こちらの二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからご覧いただけます。

編集後記

昨年度は、地域のにぎわいが本格的に戻り、町内各地で人と人とのつながりの大切さを改めて感じる一年となりました。  
壬生町でも、新しい取り組みと伝統が共存する中で、多くの笑顔や感動が生まれました。  
そのような中で『議会だより』を編集するにあたり、「今の壬生町の姿を、できるだけ多くの方に届けたい」という想いを込めて紙面づくりに取り組みました。  
読んでくださる皆様が、「町のことをもっと知りたい」と思っていたただけるきっかけになれば幸いです。  
まちづくりは、一人ひとりの関心と声から始まります。これからも、町民の皆様とともに、よりよい未来を描いていけるよう、情報発信のあり方も進化させてまいります。  
今後ともご意見・ご感想をお寄せいただき、『議会だより』が皆様にとって身近な存在であり続けられるよう努めてまいります。

榎井 将太

予算審議

定例会概要

臨時会概要

一般質問

みぶぎかいカフェ

トピックス